

大学1年の時、青春18切符を使い、五稜郭まで1人旅をしました。函館駅構内で寝たのですが、バックパッカーの人たちと仲良くなったのは、いい思い出です。  
安野 広明

宮城県大崎市のホテルでの朝食の味噌汁の味が今でも忘れません。一口飲んで思わずポットの湯を注ぎました。  
石川 秀樹

社員旅行で行ったハワイは最高でした。特にハワイ島でのゴルフでは、溶岩ショットにハマりました。ありがとうございます。  
田原 智延

1970年の大阪万博について思い出があります。アポロ号が持ち帰った月の面を見たくて・・・見れなかったけど大阪万博は良かった。  
濱崎 俊明

北九州市のスペースワールドです。上の子供達が小さい時にきました。パーク内で宿泊施設に着き、着た瞬間にジェットコースターに乗りました。  
中島 大吾

「北海道」です。新婚旅行で5泊6日。北海道を横断しました。多くの観光地をめぐりましたが、札幌の「札幌羊ヶ丘展望台」が印象に残っています。お山から何十年も...  
佐々木 康恵

子供の頃、家族旅行で沖縄に行きました。初めて体験した沖縄料理の数々は、凄く...そう...ユニークでした。ホテルのサンドイッチがとっても美味しかった記憶。普通に良いですね...  
原 光

「北海道」です。大学生の時、資金も計画もなく、友達数人と現地まで日払いしながら1ヶ月滞在したのはいい思い出です。  
室田 直樹

熊本のフジランドです。当時、小学生だったので、初めて子供だけの自由行動が許されて、大はしゃぎでした。良い思い出です。  
橋本 一輝

富山県の剣岳です。結婚が決まり実家を離れる前に登山好きの父と登りました。子供の頃に登った山の話をたくさん聞いています。  
増子 枝里子

お盆明けに親戚3家族で毎年行っていた「長野」です。避暑はもちろん、富エ五湖・軽井沢・飛騨高山。ほとんどの観光も楽しめて、最高でした。  
石川 智恵美

福岡県にある博多座で「歌舞伎」を鑑賞したことです。堅苦しいイメージがあったのですが、笑いあり涙ありでとても面白かったです。そして、空中を飛ぶ演技が、あんなに素晴らしいです。  
宮川 侑也

# かけはし

Vol.64  
春号  
2025年4



会社前のしだれ桜です (^ ^)

## 4～6月の税務・お知らせ

- 申告所得税の口座振替日・・・4/23（水）
- 消費税の口座振替日・・・4/30（水）

※預貯金残高のご確認を。  
※源泉所得税の特例納付、社会保険の算定基礎届のご準備を。

## お休みカレンダー

2025年 4月							2025年 5月							2025年 6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30					



こんにちは、ビジネスプランの安野広明です。2025年もあつという間に3ヶ月が経ちましたが、いかがお過ごしでしょうか？  
 ご存知の通り、1月にはアメリカでトランプ政権が発足し、世の中が大きく変わりつつあります。関税、為替、人工知能、安全保障などの動向は、会社経営に多少なりとも影響を及ぼすと思われますが、こういう時こそ翻弄されずに、自社の顧客や社員や商品・サービスとしっかり向き合いたいところです。  
 季節は春。今年の干支は「復活と再生」を意味する「巳」ですので、冬を越え、いよいよ新しいことが始まる予感でワクワクします^^  
 それでは春号も、どうぞよろしくお願いいたします！



代表取締役  
安野 広明



\*ももくりメルマガのご案内  
 かけはしに掲載しているような内容の記事を、毎週、無料のメールマガジンでお届けしています。ご登録は、お名前とメールアドレスを入力するだけ。たまにセミナーやイベントのご案内もしていますので、よろしければこちらからご登録下さい。(登録解除も簡単にできます)

## 「自分の能力を生かす能力」を高める

ご承知の通り、元メジャーリーガーのイチロー氏が米国野球殿堂入りをされました。アジア人では初めてという快挙です。その記者会見の中で、「若い人たちに伝えたいことは？」と聞かれて述べたのが、以下の言葉になります。

「才能ある人たちはたくさんいます。僕の比較にならないくらい才能にあふれた人はいっぱいいます。それを生かすも殺すも自分自身だということです。自分の能力を生かす能力が、また別にあるということを知っておいてほしい。  
 才能があるのになかなか生かせないという人はいっぱいいます。ケガに苦しむ人もいます。自分をどれだけ知っているかは結果に大きく影響しているということを知っておいてマイナスはないと思います。」

ここで出てきた「自分の能力を生かす能力」とは、秀逸な表現です。確かに、ビジネスの世界においても才能を活かしきれない人、無理して周りに合わせている人、自己限定してしまっている人をたまに見かけます。「みんなやってるから」「これが常識だから」などの言葉に囚われ、思い込み、そこから前に進めないのです。そういう意味では、「自分の能力を生かす能力」は、自らの才能を開花させる上でネックになるでしょう。

ではどうすればその能力を高められるのでしょうか？そのために重要なのが、イチロー氏のおっしゃっている「自分のことをどれだけ知っているか」です。どこまで深く自分と向き合い、自問自答を繰り返し、自分のことを知ろうと努力しているか。そういった営みなしに能力は磨かれれないのだと思います。逆に言うと、自分のことが分かっているようで分かっていない、自分の本心が見えているようで見えていない人は多く、だからこそ周りに振り回されてしまうのかもしれない。  
 この他にも記者会見では、殿堂入りするに当たり満票には1票届かなかったことについて、以下のコメントを残しています。

「すごく良かったと思います。いろんなことが足りない、人って。それを自分なりの完璧を追い求めて進んで行くのが人生だと思うんです。これとそれはまた別の話なんですけど、不完全であるというのはいいなって。生きていく上で不完全だから進もうとできるわけです。」

さすがはイチローですね。同氏の言葉がこれほど心に響くのは、どこまでも深く自分と向き合い、自己対話の中で生み出された自分の言葉だからではないかと思えます。私たちが自己対話をしながら、多少なりとも自分の能力を生かせる道を模索したいものです。

## セミナー紹介

## 明誠高校での租税教室



弊社代表の安野が、1月31日(金)に明誠高校の3年生120名を対象に租税教室の講師をつとめました。

## 取り組み紹介

## くじ入りのお菓子を配布しています！



弊社に来社されたお客様に、お菓子をお配りさせていただいています。  
 中には三角くじが入っており、『当たり』が出たら、ささやかながら「選べる、快適・癒しグッズ」をプレゼントしております！

当たりでもハズレでも、そこで生まれるお客様とのちょっとした会話を大切にしています。



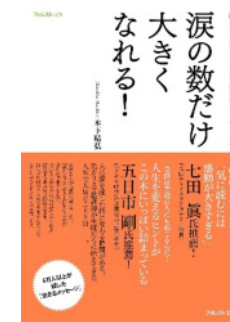
## 本の紹介

## 『涙の数だけ大きくなれる！』

著者：木下 晴弘



濱崎 俊明



弊社主催の特別講演会で講師をおつとめ下さった、木下晴弘先生のご著書を紹介したいと思います。  
 第1章から第5章までに10個のストーリーが書かれています。どのストーリーも涙があふれる内容ですが、中でも「あるレジ打ちの女性」のエピソードは、とても感動しました。仕事に就いてもすぐ辞める、を繰り返していた女性が、スーパーのレジ打ちをしながら変わっていった実話です。詳しい内容は割愛しますが、うれし涙、悔し涙、悲しい涙…。涙は人の心にスイッチが入る大事な瞬間だと思います。  
 壁に突き当たっている方、将来が見えない方、夢がもてず周りが悪いと感じている方。この本を読めば、あるべき姿が見えてくるかもしれません。ぜひ一読してみたいはいかがでしょうか。

人間の脳は、放っておくと怠けるのだそうです。そしてそのままでは、仕事や人生において成果を出すことができません。では、どうすれば怠け者の脳を本気にさせられるのか？それは「書く」習慣であると、脳科学者の茂木健一郎氏はおっしゃっています。

よく、夢や目標を書くとおっしゃると言いますが、あれは、脳が本気になるからなのだから。具体的には、脳から放出されるドーパミンという神経伝達物質が関与しているそうです。そのように考えると、書く習慣を日常に取り入れられないのはもったいない。私はブログや日記を書いています、それによって、すぐに怠けようとする自分の脳を本気にさせる効果を楽しんでいます。

「そうは言っても、書くネタがない」とおっしゃる方もいますが、私からすればそれは逆。ネタがあるから書くのではなく、書くからネタが浮かんでくるんですね。したがって何でもよいので、とりあえず紙(or パソコン)に思い付いた言葉を書いてみると、書くことが自分の中から次から次へと泉のように湧き出すはず。なぜなら誰の脳内にも、これまで得た知識や経験が、まるで腐葉土のように何層にも積み重なっているから。30歳なら30年分の、40歳なら40年分の腐葉土が貯まっています。

書くことで脳内回路がそこにアクセスし、自分でも思いもよらない言葉が出てくるなんてことは、私自身、数え切れないほど経験してきました。ちなみに個人的には、パソコンやスマホよりも紙に書くのがおすすめです。私がブログを書く際には、いったん紙にアウトプット(=殴り書き)しているのですが、やはりパソコンに直接入力するよりも、紙に書いた方が思考は深まりやすい気がします。

あと長年書き続けていると、いままでボンヤリしていた自分自身の価値観や人生観などの輪郭が徐々にくっきりしてきて、「自分は〇〇という考えを持っていたのか」「自分は〇〇になりたいのか」「自分は〇〇を目指したいのか」といったことに事後的に気付くなんてことも起こります。

このように、自身を客観視できるというのは、書くことの大きな効用だと考えています。脳を本気にするべく、日常に書く習慣を取り入れてみてはいかがでしょうか？



## 「信用」が大きな価値になる時代

以前、アメリカのメタ社が、フェイスブックやインスタグラムなどで実施している第三者による投稿内容の事実確認、いわゆるファクトチェックを廃止すると発表しました。トランプ氏の大統領就任を踏まえての動きのようですが、今後ますます、インターネット上にフェイクニュースがはびこることは間違いなさそうです。信じていたのに、実は偽情報だった…なんてことが頻繁に起こるでしょう。そうすると、何を信じればよいか分からなくなるかもしれません。そしてそんな世の中だからこそ、ネット上の顔の見えない誰かではなく、リアルで誰とつながっているかが重要になると考えています。そういったつながりの有無は、個々人のQOL(=人生や生活の質)にも影響を及ぼすはず。

その上で、商売を行う立場からすると、いままで以上に自社(自店)とつながることでお客様(や地域の方)に安心を与える存在になる必要があります。「〇〇(←会社名 or 担当者名)さんが言っている(やっている)ことなら間違いなし」と感じてもらえれば理想です。つまりそこには、目には見えない信用や信頼があるということ。おそらく社会にフェイクが蔓延すればするほど、相対的に信用の価値は高まるでしょう。

では、どうすれば商売において信用を生み出せるのでしょうか？こればかりは一朝一夕に行かないのはご承知の通りです。日々の業務の中でお客様の期待値を超える努力を積み重ねていくことがベースになります。あとは、継続性、一貫性、人となり、環境整備なども、信用を構成する要素ですね。

したがって、会社(店)で長年続いている取組みや社内の人財、技術、歴史などは、もしも発信していなければ、対外的に発信することで信用につなげていくのがよいかもかもしれません。この点、弊社はまだまだできていないことが多いため、お客様や地域にとって信用される存在になれるよう、引き続き精進いたします。



## コメディ・クラウン サーカス in 益田

1月4日にグラントワ小ホールでコメディ・クラウン・サーカスを開催しました。当日は過去最高の約650名がご来場され、会場を巻き込みながらのパフォーマンスに、驚きや笑いで会場は大盛り上がりでした。また来年もお待ちしています！



フォト  
コーナー

グッズ販売  
ブース

### お客様アンケートより

- ・子供が大笑いしていて、来て、とても良かったです。こんなに面白いとは・・と子供が話していました。新年の初笑いになりました！来年もぜひ来たいと思います。本当にありがとうございました！
- ・休憩時間、会場に出てきて子供たちと写真を撮ったり、触れ合って下さり、良かったです。大人の私も楽しめました。(70歳)
- ・5人のクラウンたちが繰り出す凄い技、子供たちの心をつかむとぼけた表現、大きな風船が駆け巡ると会場内は大盛り上がり。2歳の娘よりも目をキラキラさせて大きな声を上げる夫。娘も来年はもう少し集中できるかな。娯楽の少ない田舎に、ワクワクした人が溢れる日。このような場所があってありがたいです。